

学内向けon-lineセミナー講演
2021年10月28日(木) 15:00 - 16:00

多層社会システムにおける 感染リスク

倉橋節也 教授

筑波大学大学院人文社会・ビジネス科学学術院ビジネス科学研究群

【概要】

多層性を持つ社会システムに対して、人の移動などの社会データに基づく地域における精度の高い新型コロナ感染者予測を可能とする手法を構築し、札幌や東京、沖縄での推定結果を分析した。誤差が1～2人/日という高い予測精度を持つこのモデルを用いて、札幌市への流入リスクの影響を分析し、夏以降の流入者数を制限できていれば、秋から冬の感染拡大は大幅に抑えることができた可能性があることを示す。また、首都圏の緊急事態宣言で呼び掛けられている感染予防策について検証を行い、個人レベル(个体ベースモデル)での予防策毎の感染率推定と、都道府県レベル(SEIRモデル)での感染数推定を行い、総合的な対策が大きな効果があることや、ワクチン接種とサーキットブレーカーの組み合わせに効果があることを報告する。



倉橋節也 ([教員紹介ページ](#))

人工知能やシステム技術の社会・経営応用の研究を行う。今回のセミナー講演は、その研究のうち、感染症モデル、社会シミュレーション関連である。

内閣官房「COVID-19 AI・シミュレーションプロジェクト」
成果報告

- ・ COVID-19の各種感染シミュレーション([スライド](#))
- ・ 「地域における感染防止策」([動画9:12](#))

【参加方法】 当日, [Teams](#) からご参加ください。

【後日講演録画を聴講したい九大学生・教職員へ】

11月末までOneDriveに録画ファイルを置く予定です。10月28日のセミナー講演に参加できる方も都合が悪くて参加できない方も、後日オンデマンドで聴講したい場合は10月31日(日)までに[Form](#)へ申込をしてください。11月にそのURLをお送りします。

【問い合わせ先】

芸術工学研究院デザイン人間科学部門
教授 高木英行 (h.takagi.457@m.kyushu-u.ac.jp)

